



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 森下仁丹 株式会社
 コード番号 4524 URL <http://www.iintan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 駒村 純一
 (氏名) 武貞 文隆

TEL 06-6761-1131

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,022	4.9	150	—	174	—	144	—
25年3月期第2四半期	4,786	14.9	△57	—	△40	—	△27	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 196百万円 (862.6%) 25年3月期第2四半期 20百万円 (△91.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.12	—
25年3月期第2四半期	△1.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	13,125	8,088	61.6
25年3月期	12,867	8,045	62.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,088百万円 25年3月期 8,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	23.9	600	118.0	600	45.4	540	41.7	26.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	20,750,000 株	25年3月期	20,750,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	405,416 株	25年3月期	404,548 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	20,345,036 株	25年3月期2Q	20,346,920 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は当月7日に終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、アベノミクスへの期待感や株式市場の好転による堅調な個人消費が景況感を支えたことや、円安による輸出関連企業を中心とした企業業績の回復により、緩やかな回復基調にあります。

当社グループの属する業界も、健康意識の高まりが持続し、新政権による規制緩和への期待感は大きいものの、異業種を含む大手企業の新規参入や依然とした消費者の価格選好意識の存在などにより当社グループを取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループとしては、創業120周年を迎え「伝統に縛られず、伝統を活かす」を理念に「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとして期初から積極的な諸施策・諸活動を展開しております。その結果、売上高は5,022百万円と前年同四半期と比べ236百万円(4.9%)の増収となりました。

利益面においては、売上総利益は2,650百万円と前年同四半期と比べ69百万円(2.7%)の増益となりました。またプロモーション費用の効率化に徹したこともあり、営業利益は150百万円と前年同四半期と比べ208百万円の増益となり、さらに営業外損益を加えた経常利益は174百万円と前年同四半期と比べ214百万円の増益となり、四半期純利益は144百万円と前年同四半期と比べ172百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、OTC医薬品・医療器具ならびに新商品「梅仁丹120」を中心としたオーラルケア商品が好調に推移しました。但し競合激化などにより「ビフィーナ」等健康食品群は苦戦を強いられました。その結果、ヘルスケア事業の売上高は3,465百万円と前年同四半期と比べ45百万円(1.3%)の増収に留まりました。

損益面では、プロモーション費用の効率化に徹したこともあり、セグメント利益は36百万円と前年同四半期と比べ107百万円の増益となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、医薬品分野のカプセル受託は引き続き順調に推移し、フレーバー等新規受託先の増加もあり、その結果、カプセル受託事業の売上高は1,529百万円と前年同四半期と比べ194百万円(14.6%)の増収となりました。

損益面では、産業用等の新規分野での研究開発負担等経費の増加がありましたが、セグメント利益は112百万円と前年同四半期と比べ93百万円(485.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、13,125百万円と前連結会計年度末と比べ258百万円(2.0%)の増加となりました。総資産の内訳は、流動資産が4,225百万円と前連結会計年度末と比べ122百万円(3.0%)の増加となり、固定資産が8,900百万円と前連結会計年度末と比べ135百万円(1.5%)の増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加によるもので、固定資産の増加の主な要因は、カプセル製造機械装置等の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、5,036百万円と前連結会計年度末と比べ215百万円(4.5%)の増加となりました。負債の内訳は、流動負債が2,356百万円と前連結会計年度末と比べ139百万円(5.6%)の減少となり、固定負債が2,680百万円と前連結会計年度末と比べ354百万円(15.3%)の増加となりました。流動負債の減少の主な要因は、設備関係支払手形の減少によるもので、固定負債の増加の主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は8,088百万円と前連結会計年度末と比べ43百万円(0.5%)の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,122百万円と前連結会計年度末と比べ220百万円(24.5%)の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は570百万円(前年同四半期連結累計期間は205百万円の減少)となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益159百万円、減価償却費315百万円、売上債権の減少202百万円、たな卸資産の増加67百万円などによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は612百万円(前年同四半期連結累計期間は1,010百万円の減少)となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得434百万円、無形固定資産の取得177百万円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は262百万円(前年同四半期連結累計期間は756百万円の増加)となりました。その主な要因は、長期借入れによる収入550百万円、長期借入金の返済135百万円、配当金の支払152百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月14日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	902	1,122
受取手形及び売掛金	1,370	1,167
商品及び製品	816	883
仕掛品	353	309
原材料及び貯蔵品	313	357
その他	355	392
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	4,102	4,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,352	2,367
機械装置及び運搬具(純額)	993	1,594
土地	2,220	2,220
建設仮勘定	1,317	501
その他(純額)	320	407
有形固定資産合計	7,205	7,092
無形固定資産		
投資その他の資産	196	354
投資有価証券	1,197	1,281
その他	172	178
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,362	1,453
固定資産合計	8,764	8,900
資産合計	12,867	13,125

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,163	1,162
1年内返済予定の長期借入金	270	380
未払法人税等	39	30
賞与引当金	147	155
返品調整引当金	25	27
売上割戻引当金	42	32
設備関係支払手形	120	39
その他	686	530
流動負債合計	2,496	2,356
固定負債		
長期借入金	1,462	1,767
繰延税金負債	530	554
退職給付引当金	331	357
その他	1	1
固定負債合計	2,325	2,680
負債合計	4,821	5,036
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	963	963
利益剰余金	3,550	3,542
自己株式	△134	△134
株主資本合計	7,917	7,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128	180
その他の包括利益累計額合計	128	180
純資産合計	8,045	8,088
負債純資産合計	12,867	13,125

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,786	5,022
売上原価	2,205	2,372
売上総利益	2,581	2,650
販売費及び一般管理費	2,638	2,499
営業利益又は営業損失(△)	△57	150
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	8
受取補償金	9	—
研究開発補助金	0	14
その他	9	14
営業外収益合計	27	37
営業外費用		
支払利息	9	10
その他	1	3
営業外費用合計	10	13
経常利益又は経常損失(△)	△40	174
特別利益		
補助金収入	20	—
特別利益合計	20	—
特別損失		
固定資産処分損	4	14
特別損失合計	4	14
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△24	159
法人税、住民税及び事業税	7	19
法人税等調整額	△4	△4
法人税等合計	3	14
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△27	144
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27	144

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△27	144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	51
その他の包括利益合計	48	51
四半期包括利益	20	196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20	196

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△24	159
減価償却費	249	315
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19	25
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
返品調整引当金の増減額(△は減少)	—	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	23	7
売上割戻引当金の増減額(△は減少)	26	△9
受取利息及び受取配当金	△8	△9
支払利息	9	10
固定資産処分損益(△は益)	4	14
売上債権の増減額(△は増加)	△530	202
たな卸資産の増減額(△は増加)	△148	△67
仕入債務の増減額(△は減少)	206	△1
その他	△22	△51
小計	△196	598
利息及び配当金の受取額	8	9
利息の支払額	△9	△10
法人税等の支払額	△7	△25
営業活動によるキャッシュ・フロー	△205	570
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△977	△434
無形固定資産の取得による支出	△52	△177
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
補助金収入	22	12
その他	0	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,010	△612
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	100	—
長期借入れによる収入	900	550
長期借入金の返済による支出	△87	△135
配当金の支払額	△155	△152
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	756	262
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△459	220
現金及び現金同等物の期首残高	1,858	902
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,399	1,122

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,420	1,334	4,754	31	4,786	—	4,786
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	152	152	△152	—
計	3,420	1,334	4,754	183	4,938	△152	4,786
セグメント利益又は損失(△)	△70	19	△51	△6	△57	—	△57

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,465	1,529	4,995	27	5,022	—	5,022
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	155	155	△155	—
計	3,465	1,529	4,995	183	5,178	△155	5,022
セグメント利益又は損失(△)	36	112	149	1	150	—	150

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。